

一中学生の最善最高の自覚と実践 NO.2(R4.5.10)

○校長より

「自ら考える力を育てる」、今年度一中教育の重点事項の一つです。生徒たちは、これから変化の激しい社会を生き抜いていかなければなりません。社会で必要とされる基本的なこと(「挨拶」「時間を守る」等)を身につけていくと同時に、いろんな場面でどう行動すべきかを自分で考える力が求められます。

新年度が始まって1ヶ月が過ぎましたが、これまで一中生をみてきて「今の一中生ならできる」と感じています。休み時間、掃除、ボランティア活動ほか、いろんな場面で自分なりに考え行動する生徒を見ることができます。しっかり考えて、感心するような行動をしている生徒もいます。今後、「したい、したくない」という判断基準で行動するのではなく、「すべき、すべきでない」という判断基準で行動する生徒が、これまで以上にどんどん増えてくるよう、学校としてしっかり取り組んでいきたいと思っています。

☆最善

『生徒、保護者、教師が共に学ぶ授業参観！』



☆最高

『奉仕の心！せせらぎ水路の清掃活動！！』



☆自覚

『1年間の成長の足跡！身体計測！！』



☆実践

『花いっぱいの中を！園芸委員会の活動！！』

